

2. (3)

教育分野の取組

短期 (2010年～11年)

I. 学校教育の情報化

2010年度内に文部科学省が教育の情報化の基本方針を策定し、当該方針を踏まえて、関係府省と連携して、学校教育の情報化を推進するため、実証研究等を開始する。

文部科学省：

- 2010年度 ・「学校教育の情報化に関する懇談会」における議論等を踏まえ、学校教育の情報化を戦略的かつ一体的に推進する「教育の情報化ビジョン（仮称）」を策定
- ・既存の教科書準拠型デジタル教材を普及促進
 - ・文部科学省が提供する教材等のデジタル化
 - ・カリキュラム・マネジメント指導者養成研修を実施
 - ・学習指導要領の円滑な実施

2011年度 上記「教育の情報化ビジョン（仮称）」を踏まえ、

- ・モデル事業等により総合的に実証研究
- ①モデル事業等による実証研究
- ②デジタル教材を活用した指導方法の研究・開発を進める
- ③デジタル教科書（教科書準拠型デジタル教材）・教材やデジタル機器を活用した授業の実施
- ④教育情報ナショナルセンター（NICER）の体制・機能の強化を進める
- ⑤デジタル教科書・教材の教育効果、書籍一般の電子書籍化の動向等も踏まえつつ、教科書・教材の電子書籍化、マルチメディア化について制度改正も含め検討・推進
- ⑥すべての学校に校務支援システム（児童生徒の学習履歴・評価の管理、教材・指導案作成などの教務支援、学校・家庭・地域の情報共有、家庭・地域における学習支援等を含む）を普及
- ⑦教職課程における情報通信技術活用指導力の養成（教員の資質能力の向上方策の検討の中で議論）、現職教員研修体制の確立（すべての教員が情報通信技術を活用して指導できるようにし、地域間格差の解消）
- ⑧学習指導要領の円滑な実施

総務省：

2010～11年度 文部科学省と連携して、情報通信技術を用いた授業を実践し、実証研究等を行う「フューチャースクール推進事業」を実施

総務省、文部科学省：

2011年度 校内LAN整備及び超高速インターネット接続等の環境整備の推進

総務省、文部科学省、経済産業省：

2010～11年度 ・情報モラル教育等調査研究等の実施

- ・普及・啓発活動の実施

文部科学省、経済産業省：

2011年度 ・ICT支援員の配置促進

II. デジタルデバイドの是正・リテラシー教育の充実

社会教育施設の活用等により情報活用能力の格差是正を図り、学び直しを支援するとともに、eラーニング等によりリテラシー教育の充実を図る

(文部科学省、総務省、経済産業省)

中期（2012年～13年）

I. 学校教育の情報化

モデル事業による実証研究等の成果や、教員の指導力向上等の情報通信技術活用に係る実態を踏まえつつ、21世紀にふさわしい学校教育を本格展開するための制度の整備を行う。

文部科学省：

2012～13年度 上記「教育の情報化ビジョン（仮称）」を踏まえ、
2010～11年度の①～⑧を引き続き実施

2013年度 ①安全安心な環境のもと、児童生徒1人1台の情報端末による教育の本格展開の検討・推進
②情報化に対応した学習指導要領の改訂の検討開始

総務省：

2012年度 文部科学省と連携して、情報通信技術を用いた授業を実践し、実証研究等を行う「フューチャースクール推進事業」を実施

総務省、文部科学省：

2012～13年度 校内LAN整備及び超高速インターネット接続等の環境整備の推進（継続）

総務省、文部科学省、経済産業省：

2012～13年度 ・情報モラル教育等調査研究等の実施（継続）
・普及・啓発活動の実施（継続）
・調査研究等を踏まえたさらなる普及・啓発活動の実施

文部科学省、経済産業省：

2012～13年度 ・ICT支援員の配置促進（継続）

II. デジタルデバイドの是正・リテラシー教育の充実

社会教育施設の活用等により情報活用能力の格差是正を図り、学び直しを支援するとともに、eラーニング等によりリテラシー教育の充実を図る（継続）

（文部科学省、総務省、経済産業省）

長期（2014年～2020年）

I. 学校教育の情報化

文部科学省：

2014年～2020年 上記「教育の情報化ビジョン（仮称）」を踏まえ、
2010～11年度の⑤～⑧、2012～13年度の①～②を引き続き実施

総務省、文部科学省：

2014年～2020年 校内LAN整備及び超高速インターネット接続等の環境整備の推進（継続）

総務省、文部科学省、経済産業省：

2014年～2020年 ・情報モラル教育等調査研究等を踏まえた情報モラル教育等のさらなる普及・啓発活動の実施（継続）

文部科学省、経済産業省：

2014年～2020年 ・ICT支援員の配置促進（継続）